

今月は、多くの方が経験したことのある症状、「めまい」についてご説明します。

まず、「めまい」とは何でしょうか？この質問に対する答えは、「目がまわる」、「体がふらふらする」等、人によってさまざまだと思います。この様に「めまい」という言葉は、幅広い意味で使われています。

1. めまいがおこる仕組み

どうして「めまい」を感じるのでしょうか。私たちは日頃、無意識のうちに脳内で下記の情報を総合して、自分の体の動きや姿勢を調節しています。

●視覚からの情報

●前庭器からの情報

(前庭器は中耳のさらに奥にある内耳に存在。重力や直線加速度を感受する耳石器と、回転加速度を感受する三半規管から構成される。前庭神経を經由して脳幹に情報が伝わる。)

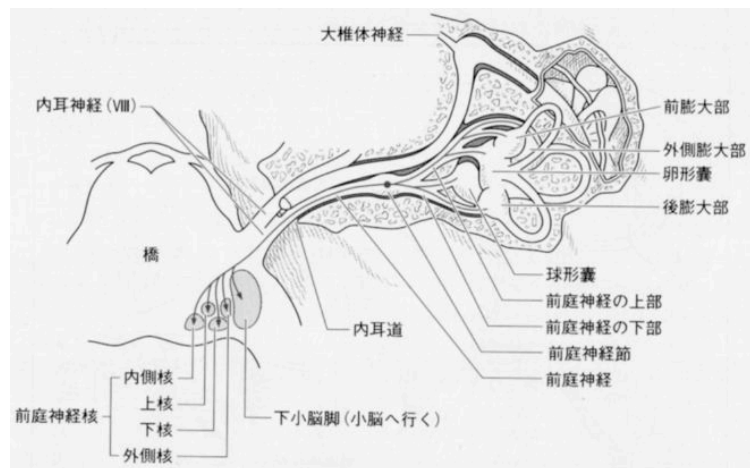
●筋肉や関節から得られる、自分の体の位置や動きの情報(深部感覚)

これらの情報処理を脳内で担当するのが脳幹や小脳で、互いにネットワークを形成しています。(右頁図)。

そして情報の発信や処理に役割を果たしている器官で不具合が生じると、自分の体の位置や動きを間違っ

て認識する状態になります。例えば内耳の障害では、体のバランスを保っている前庭器からの情報と、視覚や深部感覚から得られる情報に矛盾がでて、それをめまいと感じます。簡単に言えば、実際に体は動いてはいないのに動いたり回転したりしているように感じてしまい、その不快感をめまいと感じるということです。

▼前庭器と脳幹の関係



2. めまいの種類

めまいを原因から大別すると、A. 神経系疾患によるめまい B. 循環器疾患によるめまい C. 全身性疾患によるめまい D. その他に分けられます。

A. 神経系疾患によるめまい

神経系疾患によるめまいは、さらに中枢性めまいと末梢性めまいとに分けられます。

中枢性めまいは、大脳や小脳、脳幹の障害によるめまいで、ふわふわした浮動性めまい(dizziness)であることが多いです。耳鳴りや難聴はないものの、他の神経症状(運動麻痺や感覚障害など)を合併

することもあります。原因疾患は脳血管障害や脳腫瘍、脊髄小脳変性症などが該当します。

末梢性めまいとは前庭器や前庭神経の障害によるめまいで、周囲の景色がぐるぐると回るような回転性めまい(vertigo)です。程度も激しく、気持ちが悪くなって嘔吐することもあります。耳鳴りや難聴をともない、体に対する首の位置で、めまいの様子が変化します。原因疾患には良性発作性頭位性めまいやメニエル病、前庭神経炎などが挙げられます。

B. 循環器疾患によるめまい

起立性低血圧(たちくらみ)や高血圧、不整脈や徐脈、出血性ショックによるめまいが該当します。循環や血圧の変動によるもので、意識が遠のく感じます。症状が短時間で消えればめまいですが、進行して失神することもあります。

C. 全身性疾患によるめまい

貧血や低血糖、薬物中毒によるめまいが該当します。片頭痛に合併するめまいや、飲酒によるめまいもあります。

D. その他のめまい

心因性のめまいもあり、不安神経症や過換気症候群でめまいがおこることもあります。

3. めまいを起こす代表的な神経疾患

① 脳血管障害によるめまい

病変の部位によってめまいも異なりますが、脳幹や小脳の脳血管障害では、発症時に急激な回転性めまいを生じます。特に小脳出血では運動麻痺はないものの、強いめまいのために起立や歩行ができず、頻回に嘔吐するのが特徴です。

脳血管障害ではめまいの他にも、意識障害や構音障害(ろれつが回らない)、ふらつき等、病変の場所に応じて他の神経症状も伴います。

② 脳腫瘍によるめまい

小脳橋角部(小脳と脳幹の連絡通路が通る部位)の腫瘍や、前庭神経にできる腫瘍(聴神経腫瘍と呼ばれる)ではめまいが生じます。同時に難聴や耳鳴りを伴います。

③ 良性発作性頭位性めまい

耳を原因とするめまいの1/3を占めるといわれる頻度の多い疾患です。寝ている状態から起き上がる時や、誰かに呼ばれて急に振り返った時などに回転性のめまいがおこります。めまいは数秒から長くても数十秒で消失します。

前庭器に存在する耳石という小さな石が、本来の位置から外れてしまうことが原因と考えられています。疾患の名前でわかるように、特に治療しなくても、いつのまにか治癒していることが多いです。

④ メニエル病

吐きけや嘔吐を伴うような、激しい回転性めまい発作を起こす疾患です。めまいだけではなく、耳鳴りや難聴も伴います。

内耳を満たしている液体の内リンパが増えすぎて、内耳がむくんでしまうことで発症するといわれています。発作は毎週～年に数回の頻度で再発し、発作を繰り返すことで難聴を残すこともあります。

4. めまいの治療

めまいと嘔吐に対しては、安静と症状をやわらげる対症療法を行います。めまいの原因疾患が分かっている場合は、それに対する治療を優先します。

まとめ

めまいの原因疾患は多岐にわたりますが、中には生命に関わるような疾患も含まれています。特に、急激に発症して他の神経症状をともなうめまいの場合には、早期の受診を心がけてください。